

令和4年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

音 楽

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

注 意 事 項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから5ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

1 次の(1)～(8)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文章は、「教育の情報化に関する手引 追補版」(文部科学省、令和2年6月)における、第4章第3節「3. 高等学校の各教科等におけるICTを活用した教育の充実」の「(7) 芸術」に関する記述の一部である。[a]～[f]に適する語を下の【語群】のア～シから選び、記号で答えよ。

音楽、美術、工芸、書道の各科目において(中略)、表現及び鑑賞に関する[a]を育成する学習活動において、ICTを活用することが考えられる。その際、ICTを活用する学習活動と、[b]を働かせて直接感じ取らせる学習活動とを、題材のねらいに応じて[c]し、効果的な指導を行うことで、生徒が[d]をもって主体的に学習を進めたり、互いの見方や感じ方、考え方を[e]して思考を深めたり、振り返って[f]を見付けたりする活動を充実することが重要である。

【語群】

- | | | | |
|--------|---------|--------|-----------|
| ア … 比較 | イ … 自信 | ウ … 吟味 | エ … 資質・能力 |
| オ … 成果 | カ … 見通し | キ … 対照 | ク … 身体感覚 |
| ケ … 共有 | コ … 多様性 | サ … 感性 | シ … 新たな課題 |

- (2) 我が国の民謡のうち、「播州木挽き歌」や「大漁節」は、どのような目的で歌われてきたか答えよ。また、民謡の声の特徴について説明せよ。
- (3) 平安時代に貴族の間で愛好され、「源氏物語」の中では演奏場面が多く描かれている歌の種類を、次のア～オより1つ選び記号で答えよ。
ア … 東歌 イ … 久米歌 ウ … 催馬楽 エ … 今様 オ … 朗読
- (4) 18世紀末以降のヨーロッパにおいて、楽器の改良に伴い、自ら作曲した超絶技巧を誇るダイナミックな作品を演奏した作曲家兼演奏家たちの総称と、代表的な人物を答えよ。
- (5) 能とオペラとを比較しながら鑑賞する学習を行う際、次の表のように板書を計画した。例にならって表の項目を設定し、それぞれの特徴を答えよ。

表

音楽	項目	例：歌の種類			
能		謡			
オペラ		アリア			

- (6) 次の①～③の語句について説明せよ。
① 不即不離 ② カントゥス・フィルムス ③ ムラ息
- (7) 次のア～ウの楽器について、楽器の種類(弦楽器、管楽器、打楽器)を答え、楽器の構造や材質について説明した文章をa～eから選び記号で答えよ。
ア … バラフォン イ … チャランゴ ウ … ナイ

【説明】

- a … 西アフリカ一帯に広く見られる楽器で、ひょうたんが取り付けられている。
b … ミャンマーの楽器で、舟形の共鳴胴から大きく湾曲した棹が伸びている。
c … アンデス地方の楽器で、胴に木やアルマジロの甲羅が使われている。
d … ルーマニアのパンパイプの一種で、長さの異なる管が並べられている。
e … 中国の楽器で、円筒形や多角形の木製の胴に蛇の皮が張られている。

- (8) 著作権法上の学校における例外措置について、芸術科「音楽」の授業に関わりの深い措置の内容を説明せよ。

2 ある作曲家による2つの楽曲の一部、楽譜A及び楽譜Bについて、後の(1)～(7)の問いに答えなさい。

楽譜A

Presto.

Flauti.

Oboi.

①
Clarineti in A.

Fagotti.

Violino I.

Violino II.

Viola.

Violoncello.

Basso.

楽譜B

Allegro assai

Corni di Bassetto

Fagotti

Trombe in D

Timpani in D.A

Violino I

Violino II

Viola

Soprano

Alto

3 Tromboni

Tenore

Basso

Violoncello

Basso ed Organo

Di - es i - rae, di - es il - la, solv-et sae-clum in fa-

- (1) 楽譜A及び楽譜Bの楽曲の作曲者名を答えよ。また、この作曲者と同時代の音楽家の仕事について、その特徴を説明せよ。
- (2) 楽譜Aの楽曲が含まれるオペラの名称と、このオペラの種類として最も適切なものをア～カから選び答えよ。また、同じ分類に当たるオペラの名称を答えよ。ただし、楽譜Aの作曲者とは異なる作曲者によるオペラとする。
- ア … オペラ・セリア イ … ジングシュピール ウ … オペラ・ブッフア
エ … オペレッタ オ … オペラ・コミック カ … トラジェディ・リリック
- (3) 楽譜Aにおいて、①の楽器で[②]に示した部分を演奏する際の楽譜を完成させよ。ただし、調号は用いないこと。
- (4) この楽曲を扱う「鑑賞」の学習を構想するため、楽譜Aで示した部分の教材研究を行った。例にならって、学習の支えとなる「音楽を形づくっている要素」を「リズム」以外に3つ挙げ、その知覚と感受の内容を答えよ。

例	要素	知覚	感受
	リズム	八分音符の細かなリズム	規則正しさ、生き生きとした印象

- (5) 楽譜Bに示された歌詞を持つ楽曲のほか、一般に「サンクトゥス」や「アニヌス・デイ」などの楽曲を含む曲種を何というか書け。また、その意味を答えよ。
- (6) 楽譜Bの楽曲を合唱するに当たり、ピアノによる伴奏を冒頭2小節分作成せよ。
- (7) 楽譜A及び楽譜Bの楽曲が作曲された時代より後に日本の音楽に起こった出来事を、次のア～カから全て選べ。
- ア … 人形浄瑠璃の誕生 イ … 都山流尺八の誕生 ウ … 田楽・猿楽の流行
エ … 能の式楽化 オ … 元禄花見踊の上演 カ … かぶき踊の流行

3 次の楽譜（一部改変）について、後の(1)～(5)の問いに答えなさい。

esitando a tempo

からたちのはな がさいた よ しろい しろいは な がさいた よ

- (1) 元となる楽曲の作詞者と作曲者名を答えよ。また、同じ作詞者と作曲者による歌曲を2つ答えよ。
- (2) 元となる楽曲は、日本語のアクセントと詩の流れを生かした旋律やリズムが特徴である。楽譜中に正しい小節線を書き入れよ。ただし、拍子記号は不要とする。
- (3) _____を付した部分について、作曲者自身は、1つ目の「しろい」には「ためらいがちに」、2つ目の「しろい」は「切実さをもって」と記している。このことについて、それぞれを歌い分けるための生徒への具体的な言葉掛けを答えよ。
なお、「高等学校学習指導要領」（平成30年3月告示）における「音楽Ⅰ」の〔共通事項〕に示された「イ 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること」を踏まえること。
- (4) 楽譜に示した部分について、明瞭に歌詞を伝える歌唱表現となるよう、どのようなことを指導するか具体的に答えよ。
- (5) この楽曲を扱う歌唱の学習を踏まえ、以下に示す歌詞が持つ言葉の抑揚を生かした旋律をつくる学習を行う際、生徒に例示する作品例を作成し、[]内に生徒に説明する内容を書け。
なお、作成に当たっては、旋律は我が国の五音音階に基づくものとし、使用した五音音階の名称と構成音も含めて答えよ。

【歌詞】 はし わた てん あお あめ
橋を渡り、天を仰ぐと雨

- 4 次の表は、「高等学校学習指導要領」（平成30年3月告示）における「音楽Ⅰ」及び「音楽Ⅱ」の内容のうち、「A表現（2）器楽」に関する記述の一部を表にしたものである。また、資料は、「音楽Ⅰ」の内容の取扱いのうち、「音楽Ⅱ」においても同様に扱うものとされている内容の一部である。後の(1)～(4)の問いに答えなさい。

表

「音楽Ⅰ」	「音楽Ⅱ」
ア 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫すること。	ア 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、 <input type="text" value="c"/> に器楽表現を創意工夫すること。
イ 次の(ア)から(ウ)までについて理解すること。	イ 次の(ア)から(ウ)までについて理解すること。
(ア) 曲想と <input type="text" value="a"/> や文化的・歴史的背景との関わり	(ア) 曲想と <input type="text" value="a"/> や文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果
(イ) 曲想と楽器の音色や奏法との関わり	(イ) 曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果
(ウ) 様々な表現形態による器楽表現の <input type="text" value="b"/> (以下、省略)	(ウ) 様々な表現形態による器楽表現の <input type="text" value="d"/> や <input type="text" value="e"/> (以下、省略)
	ウ 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、次の(ア)から(ウ)までの技能を身に付けること。
	(ア) 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能 (以下、省略)

資料

(9) 内容の「A表現」及び「B鑑賞」の教材については、学校や地域の実態等を考慮し、我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽から幅広く扱うようにする。また、「B鑑賞」の教材については、の諸民族の音楽を含めて扱うようにする。

- (1) ～に適する語を答えよ。
- (2) 表の_____について、指導に当たって留意すべき点を述べよ。
なお、「曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解する過程で」に続くよう解答すること。
- (3) 資料の~~~~~について、指導のねらいを実現するために留意すべき点を述べよ。
- (4) 「音楽Ⅱ」において、表のア、イ(イ)及びウ(ア)を関連させた器楽の学習について、資料を踏まえた指導計画を作成せよ。
なお、指導時間は2時間（1単位時間は50分とする。）で計画することとし、教材、1時間ごとのねらい、主な学習活動を含むものとする。

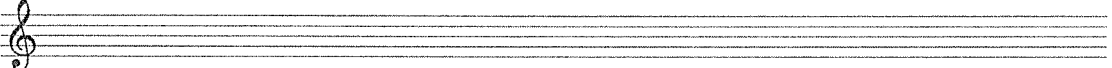
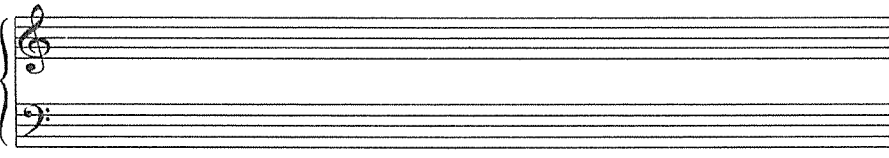
科目	音楽解答用紙	2枚中の1	受験番号		氏名	
----	--------	-------	------	--	----	--

(4年)

1

(1)	a	b	c	d	e	f
(2)	目的					
	特徴					
(3)						
(4)	総称			代表的な人物		
(5)	音楽		項目	例：歌の種類		
	能			謡		
	オペラ			アリア		
(6)	①					
	②					
	③					
(7)	ア		説明	イ		説明
(8)						

2

(1)	作曲者名	説明				
(2)	名称	分類記号	同じ分類のオペラの名称			
(3)						
(4)	要素	知覚			感受	
	要素	知覚			感受	
	要素	知覚			感受	
(5)	曲種	意味				
(6)						
(7)						

科目	音楽解答用紙	2枚中の2	受験番号	氏名

(4年)

3

(1)	作詞者	作曲者	歌曲	歌曲
(2)	<p>からたちのはな がさいたよ しろい しろいはな がさいたよ</p>			
(3)				
(4)				
(5)	五音音階の名称	構成音		
	作品例			
	説明	[]		

4

(1)	a	b	c	d	e	f
(2)	曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解する過程で					
(3)						
(4)	教材名					
	時間	ねらいと主な学習活動				
	1	ねらい				
		主な学習活動				
	2	ねらい				
		主な学習活動				

以下はあくまでも解答の一例です。

科 目	音楽解答用紙	2枚中の1	受験 番号		氏 名	
--------	--------	-------	----------	--	--------	--

(4年)

1

(1)	a エ 2	b ク 2	c ウ 2	d カ 2	e ケ 2	f シ 2																		
(2)	目的 作業を円滑に行うため力仕事のタイミングを合わせたり、疲れを紛らわせたりするため。 2																							
例	特徴 節回しや技巧的な装飾であるコブシや、つやのある声 2																							
(3)	ウ 2																							
(4)	総称 ヴィルトゥオーゾ(ソ) 2			代表的な人物 例) パガニーニ 2																				
(5)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">音楽</th> <th style="width: 15%;">項目</th> <th style="width: 20%;">例：歌の種類</th> <th style="width: 15%;">唱法</th> <th style="width: 15%;">伴奏</th> <th style="width: 25%;">代表的な作品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>能</td> <td></td> <td>謡</td> <td>強吟</td> <td>四拍子</td> <td>高砂</td> </tr> <tr> <td>オペラ</td> <td></td> <td>アリア</td> <td>ベル・カント唱法</td> <td>オーケストラ</td> <td>カルメン</td> </tr> </tbody> </table>					音楽	項目	例：歌の種類	唱法	伴奏	代表的な作品	能		謡	強吟	四拍子	高砂	オペラ		アリア	ベル・カント唱法	オーケストラ	カルメン	項目ごとに3
音楽	項目	例：歌の種類	唱法	伴奏	代表的な作品																			
能		謡	強吟	四拍子	高砂																			
オペラ		アリア	ベル・カント唱法	オーケストラ	カルメン																			
(6)	① 同時に奏される2声部が、ヘテロフォニー的な関係にあること (つかずはなれず) 3																							
例	② 定旋律のこと。多声楽曲においてあらかじめ与えられた声部 3																							
	③ 尺八の奏法の1つで、歌口に強く息を吹きかけるなどして、楽音以外の音も出す技法 3																							
(7)	ア 打楽器 1	説明 a 1	イ 弦楽器 1	説明 c 1	ウ 管楽器 1	説明 d 1																		
(8)	その授業の過程における使用に供することを目的とする場合には、必要と認められる限度において、公表された著作物を複製することができる。 4																							

2

(1)	作曲者名 モーツァルト 4	説明 例) 教会や宮廷に仕え、そこで演奏するための音楽を作曲したり演奏したりして生活をしていた。 4		
(2)	名称 フィガロの結婚 2	分類記号 ウ 2	同じ分類のオペラの名称 例) セビリアの理髪師 2	
(3)			4	
(4)	要素 強弱 3	知覚 pp 3	感受 密やかさ、何かが起こるわくわく感 2	
例	要素 旋律 3	知覚 半音を含む順次進行 3	感受 流れるような滑らかさ 2	
	要素 テクスチャ 3	知覚 ユニゾン 3	感受 簡潔さ、力強さ 2	
(5)	曲種 レクイエム 4	意味 死者のためのミサ曲 4		
(6)				6
(7)	イ、オ 完答3			

科 目	音楽解答用紙	2枚中の2	受験番号	氏 名	(4年)
--------	--------	-------	------	--------	------

3

(1)	作詞者 北原白秋	作曲者 山田耕筰	歌曲 この道	歌曲 ペチカ	4	4	4	4
(2)								完答 4
(3)	<p>前半の「しろい」は、(ためらって、少し遅く)の意味をもつesitandoとテヌートを生かして、音を離すように、時間をかけて歌いましょう。後半の「しろい」は、a tempoの記載どおり速度を元に戻し、スラーを生かして滑らかに、次の「はな」につながるように歌いましょう。</p>							6
(4)	「からたち」、「はな」、「さいた」、「しろい」、など、単語の初めの子音を明瞭に発音する。など							6
(5)	五音音階の名称 民謡音階	構成音 3					3	
	<p>作品例</p>							6
	<p>説明 「はし」「てん」「あめ」には同音異義語があり、旋律線の上下の違いによって意味が異なるため、歌詞の意味が伝わるよう、歌詞の抑揚を生かした旋律とすることが重要である。</p>							6

4

(1)	a 音楽の構造	2	b 特徴	2	c 個性豊か	2	d 固有性	2	e 多様性	2	f アジア地域	2	
(2)	<p>曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解する過程でどのような表現上の効果が生み出されているのかを生徒が感じ取り、その根拠を明らかにしていくことができるようにする</p>											6	
(3)	<p>特定の地域や時代に偏ることなく、生徒の特性や興味・関心、学校や地域の実態等を考慮し、幅広い教材の中から適切に教材を選択する</p>											6	
(4)	<p>教材名 安里屋ユンタ (前奏部分) 三線 三味線</p>												6
	時間	ねらいと主な学習活動											
	1	<p>ねらい ・「安里屋ユンタ」の全体の曲想を捉え、工工四や基本的な奏法を理解しながら前奏部分を演奏する。</p> <p>主な学習活動 ・「安里屋ユンタ」を聴き、その印象をICTを活用して共有する。 ・工工四の読み方、三線の基本的な奏法について、教師の説明を聞いたり、ICTで撮影した自身の演奏を確認したりして理解する。 ・「安里屋ユンタ」を演奏する。</p>											4
	2	<p>ねらい 曲想と三線の音色や奏法、表現上の効果について理解し、演奏に生かす。</p> <p>主な学習活動 ・「安里屋ユンタ」を三線と三味線で演奏し、音色や雰囲気の違いについてICTを活用して共有する。 ・グループで三線と三味線を演奏しながら、音色や雰囲気と奏法や楽器の構造とを関わらせて考え、その内容をクラス全体で共有する。 ・共有した内容を基に、「安里屋ユンタ」にふさわしい音色や奏法を工夫し、演奏する</p>											4
													6